

令和6年度

病院プラン結果概要
(大阪府・堺市二次医療圏)

Contents

① 令和6年度病院プラン結果

- (1) 病院プランの提出状況
- (2) 病床機能別病床数
- (3) 府の報告基準に基づく報告との一致率
- (4) 病院機能分類結果概要

② 将来のあるべき医療体制に向けて

- (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

① 令和6年度病院プラン結果

(1) 病院プランの提出状況

(2) 病床機能別病床数

(3) 府の報告基準に基づく報告との一致率

(4) 病院機能分類結果概要

① (1) 病院プランの提出状況

すべての病院から病院プランが提出されている

●病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	21	21	100%
公的	51	51	100%
民間等	388	388	100%
合計	460	460	100%

●病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	7	7	100%
②急性期病院	97	97	100%
③急性期ケアミックス型病院	122	122	100%
④地域急性期病院	29	29	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	80	80	100%
⑥回復期リハビリ病院	16	16	100%
⑦慢性期病院	105	105	100%
⑧分類不能	4	4	100%
合計	460	460	100%

① (1) 病院プランの提出状況

圏域においても、すべての病院から病院プランが提出されている

● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	1	1	100%
公的	5	5	100%
民間等	32	32	100%
合計	38	38	100%

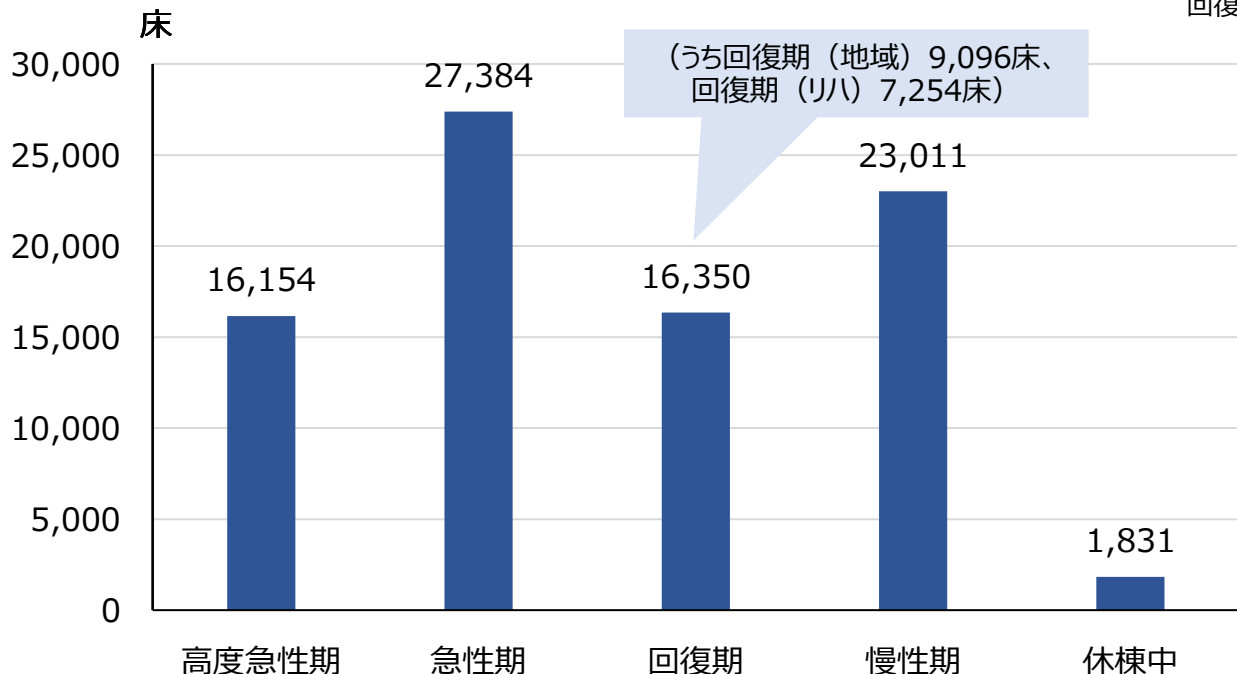
● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	0	0	-
②急性期病院	7	7	100%
③急性期ケアミックス型病院	13	13	100%
④地域急性期病院	1	1	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	10	10	100%
⑥回復期リハビリ病院	0	0	-
⑦慢性期病院	7	7	100%
⑧分類不能	0	0	-
合計	38	38	100%

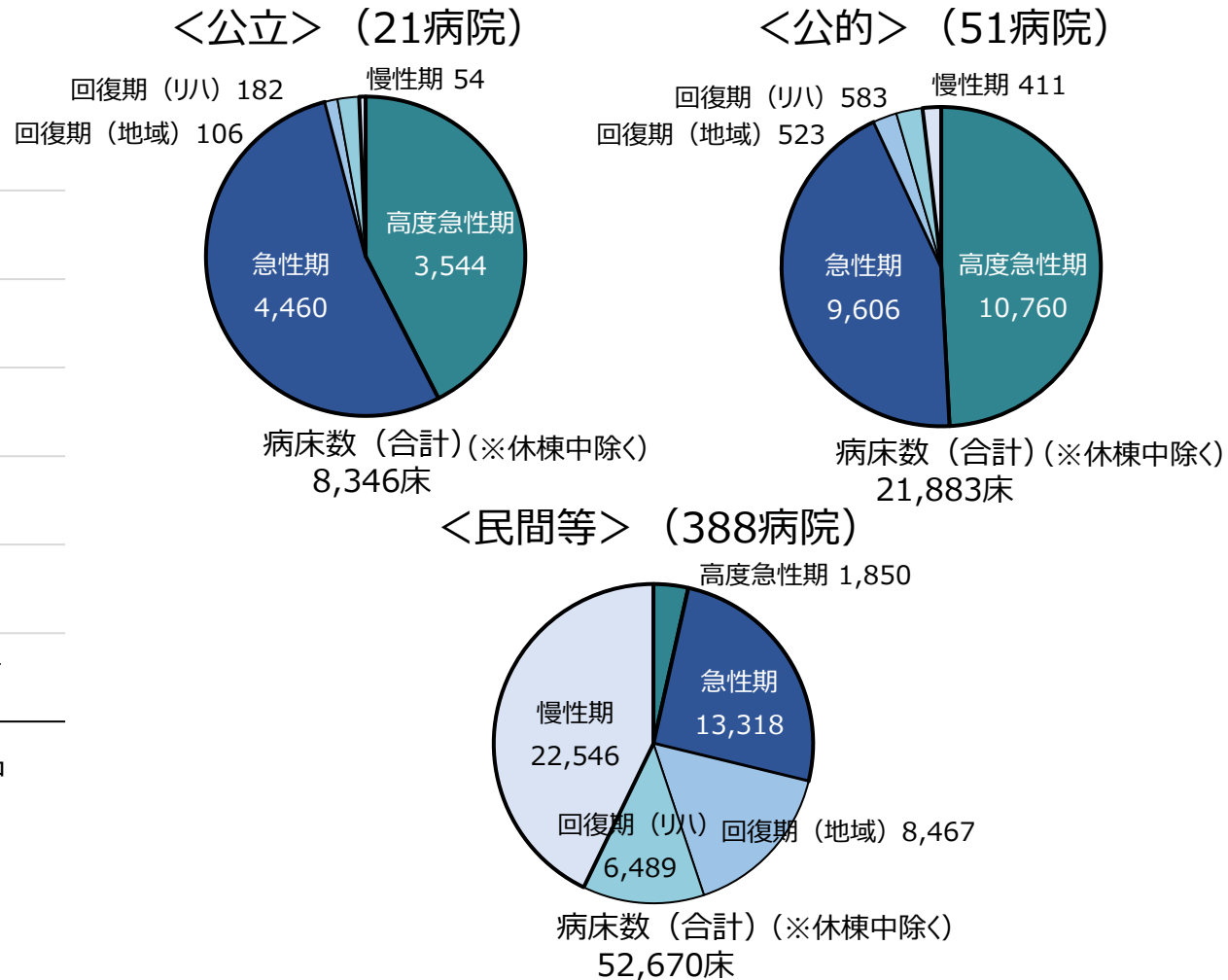
① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

病床機能は、公立・公的病院では高度急性期および急性期、民間等病院では慢性期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



● 病床機能別病床数の割合 (公民別)

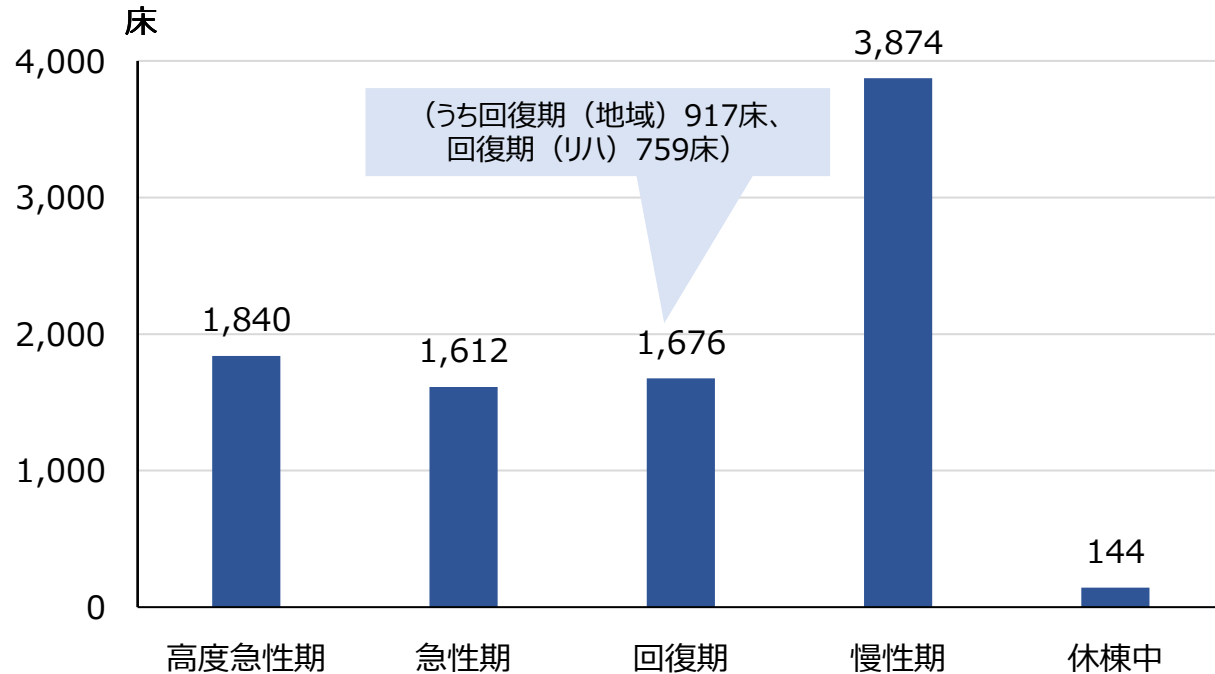


参照：令和6年度病院プラン (速報値：1月7日現在)

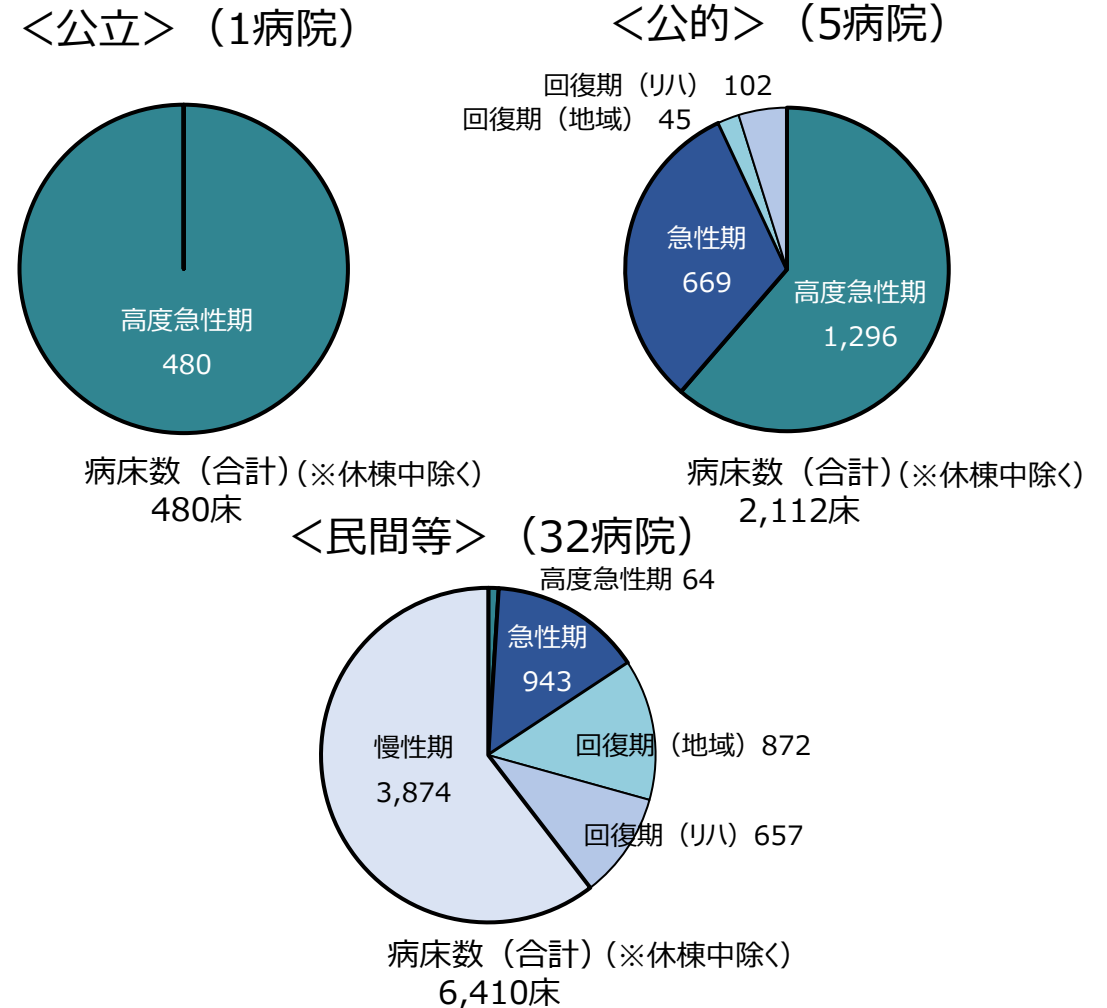
① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

病床機能は、公立病院では高度急性期、公的病院では高度急性期および急性期、民間等病院では慢性期および回復期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



● 病床機能別病床数の割合 (公民別)



参照：令和6年度病院プラン（速報値：1月7日現在）

① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、医療機関あたりの病床機能の一致率は
府全体は約94%、堺市二次医療圏では約95%となっている

● 病床機能の報告 二次医療圏別 病院の報告基準一致率 (有するすべての病棟の報告について府の基準と一致しているか。)

二次医療圏	医療機関数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/(A-C)	未提出 医療機関数	
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告*	基準に係る項目 の報告不備*	全病床 休床中 (C)			
豊能	42	39	3	0	0	92.9%	0	
三島	31	29	2	0	0	93.5%	0	
北河内	55	55	0	0	0	100%	0	
中河内	31	30	1	0	0	96.8%	0	
南河内	34	34	0	0	0	100%	0	
堺市	38	36	2	0	0	94.7%	0	
泉州	57	55	0	0	2	100%	0	
大阪市	172	150	20	0	2	88.2%	0	
	北部	39	35	3	0	1	92.1%	0
	東部	60	54	6	0	0	90.0%	0
	西部	27	21	6	0	0	77.8%	0
	南部	46	40	5	0	1	88.9%	0
合計	460	428	28	0	4	93.9%	0	

※「基準に基づかない報告」と「基準に係る項目の報告不備」では重複している病院あり

参照：令和6年度病院プラン（速報値：1月7日現在）

① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、病棟あたりの病床機能の一致率は
府全体では約97%、堺市二次医療圏では約99%となっている

● 病床機能の報告 二次医療圏別 病棟別の報告基準一致率

二次医療圏	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/(A-C)	
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告	基準に係る項目 の報告不備	休棟中 (C)		
豊能	232	217	5	0	10	97.7%	
三島	151	140	5	0	6	96.6%	
北河内	236	231	0	0	5	100%	
中河内	137	132	1	0	4	99.2%	
南河内	151	150	0	0	1	100%	
堺市	213	207	3	0	3	98.6%	
泉州	215	208	0	0	7	100%	
大阪市	787	728	41	0	18	94.7%	
	北部	208	197	6	0	5	97.0%
	東部	239	219	12	0	8	94.8%
	西部	133	120	12	0	1	90.9%
	南部	207	192	11	0	4	94.6%
合計	2,122	2,013	55	0	54	97.3%	

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率①

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/(A-C)
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告	基準に係る項目の 報告不備	休棟中(C)		
救命救急入院料 1～4 特定集中治療室管理料 1～6 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 総合周産期特定集中治療室管理料 小児特定集中治療室管理料 新生児特定集中治療室管理料 新生児治療回復室入院医療管理料	高度急性期	265	265	0	0	0	2,446	100%
回復期リハビリテーション病棟入院料 1～5	回復期	161	161	0	0	0	7,254	100%
療養病棟入院料 1～2	慢性期	337	337	0	0	0	16,076	100%
障害者施設等入院基本料	慢性期	141	140	1	0	0	6,898	99.3%
特殊疾患病棟入院料 1～2	慢性期	1	1	0	0	0	51	100%
特定機能病院 7対1 入院基本料	高度急性期 急性期	111	99	12	0	0	4,772	89.2%
専門病院 7対1 入院基本料		0	0	0	0	0	0	-
小児入院医療管理料 1～3		45	44	1	0	0	1,389	97.8%
小児入院医療管理料 5		0	0	0	0	0	0	-
急性期一般入院料 1～3		635	607	28	0	0	28,227	95.6%

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率②

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/(A-C)
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告	基準に係る項目の 報告不備	休棟中(C)		
特定機能病院10対1入院基本料	急性期 回復期	0	0	0	0	0	0	-
専門病院10対1入院基本料		3	3	0	0	0	164	100%
急性期一般入院料4～6		160	153	7	0	0	7,259	95.6%
緩和ケア病棟入院料1～2		34	32	2	0	0	751	94.1%
地域包括医療病棟入院料	急性期※ 回復期	9	8	1	0	0	411	88.9%
専門病院13対1入院基本料	急性期 回復期 慢性期	0	0	0	0	0	0	-
地域一般入院料1～2		35	33	2	0	0	1,595	94.3%
特定一般病棟入院料1～2		0	0	0	0	0	0	-
地域包括ケア病棟入院料1～4	急性期※ 回復期 慢性期	88	88	0	0	0	3,747	100%
地域一般入院料3	回復期 慢性期	38	37	1	0	0	1,733	97.4%
一般病棟特別入院基本料		3	3	0	0	0	73	100%
合計		2,066	2,011	55	0	0	82,846	97.3%
診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なしの病床		1					53	
休棟中		54	0	0	0	54	1,831	
入院料未報告等		1	1	0	0	0	0	

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

病院からの報告による病床数 (A) と報告基準に基づく病床数 (B) の差は
病床機能によってばらつきがある

● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	16,154 床	16,476 床	▲322 床
急性期	27,384 床	26,500 床	+884 床
回復期	16,350 床	16,898 床	▲548 床
地域	9,096 床	9,644 床	▲548 床
リハ	7,254 床	7,254 床	±0 床
慢性期	23,011 床	23,025 床	▲14 床
休棟中	1,831 床	1,831 床	±0 床
分類不能	0 床	0 床	±0 床
合計	84,730 床	84,730 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上

※：地域包括ケア病棟入院料・地域包括医療病棟については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期 (地域) として計上

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

病院からの報告による病床数 (A) は報告基準に基づく病床数 (B) より、
高度急性期が多く、急性期と回復期が少ない

● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	1,840 床	1,743 床	+97 床
急性期	1,612 床	1,649 床	▲37 床
回復期	1,676 床	1,736 床	▲60 床
地域	917 床	977 床	▲60 床
リハ	759 床	759 床	±0 床
慢性期	3,874 床	3,874 床	±0 床
休棟中	144 床	144 床	±0 床
分類不能	0 床	0 床	±0 床
合計	9,146 床	9,146 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上

※：地域包括ケア病棟入院料・地域包括医療病棟については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期 (地域) として計上

① (4) 病院機能分類結果概要

病院機能の見える化を図ることにより、今後の機能分化の議論の活性化を図る

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	7	5,590 床	4,825 床	698 床	0 床	0 床	0 床	67 床	0 床
急性期病院	97	25,287 床	9,051 床	15,235 床	148 床	45 床	98 床	710 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	122	25,433 床	2,278 床	11,451 床	3,326 床	3,525 床	4,156 床	697 床	0 床
地域急性期病院	29	1,805 床	0 床	0 床	1,768 床	0 床	0 床	37 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	80	13,381 床	0 床	0 床	3,844 床	2,123 床	7,284 床	130 床	0 床
回復期リハビリ 病院	16	1,561 床	0 床	0 床	0 床	1,561 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	105	11,531 床	0 床	0 床	10 床	0 床	11,473 床	48 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	4	142 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	142 床	0 床
合計	460	84,730 床	16,154 床	27,384 床	9,096 床	7,254 床	23,011 床	1,831 床	0 床

① (4) 病院機能分類結果概要

圏域においては、病院機能の見える化の結果を踏まえ、
地域医療構想の推進にかかる機能分化について議論していく

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	0	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
急性期病院	7	2,094床	1,372床	647床	21床	0床	0床	54床	0床
急性期ケア ミックス型病院	13	2,816床	468床	965床	433床	168床	692床	90床	0床
地域急性期病院	1	47床	0床	0床	47床	0床	0床	0床	0床
後方支援ケア ミックス型病院	10	2,546床	0床	0床	416床	591床	1,539床	0床	0床
回復期リハビリ 病院	0	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
慢性期病院	7	1,643床	0床	0床	0床	0床	1,643床	0床	0床
分類不能 (全床休棟中)	0	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
合計	38	9,146床	1,840床	1,612床	917床	759床	3,874床	144床	0床

(参考) 病院機能分類

- 地域に必要な医療を持続的に提供していくため、病院の役割分担による体制づくりを検討していくことが重要。
- 現在各病院が有する病床機能等から、**大阪府独自に病院の機能・役割の見える化を図るため、病院機能を分類（令和4年度より）。**

病院機能分類		分類の考え方
分類区分		
1	特定機能病院	特定機能病院
2	急性期病院	高度急性期と急性期の病床の合計割合が病床（一般・療養）の9割以上
3	急性期ケアミックス型病院	高度急性期または急性期の病床を有するが、当該病床の割合が病床（一般・療養）の9割未満
4	地域急性期病院	回復期病床（地域（リハビリ以外））の割合が病床（一般・療養）の9割以上
5	後方支援ケアミックス型病院	1～4、6、7の区分に属しない病院
6	回復期リハビリ病院	回復期病床（リハビリ）の割合が病床（一般・療養）の9割以上
7	慢性期病院	慢性期病床の割合が病床（一般・療養）の9割以上

各病院の役割の基本的なイメージ

各病院は役割に応じた機能の維持・強化を図ることが期待され、**特に、現在回復期（サブアキュート・ポストアキュート）を担っている病院は、回復期機能を強化していくことが望まれる。**

病院の主な役割	特定機能病院	急性期病院	急性期 ケアミックス型病院	地域急性期病院	後方支援 ケアミックス型病院	回復期リハビリ 病院	慢性期病院	
①高度医療の提供及び研修、高度医療技術開発等	↕	↕	↕					
②重症患者の救急受入機能 （脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療等）								
③地域診療拠点機能（がん、災害、小児、周産期等）								
④サブアキュート機能（大腿骨骨折や肺炎等軽度の急性期患者の受入【救急、在宅医療の後方支援機能】）	回復期機能			↕	↕	↕		
⑤ポストアキュート機能（回復期リハビリ患者の受入）				↕	↕	↕	↕	
⑥長期入院が必要な患者の受入							↕	

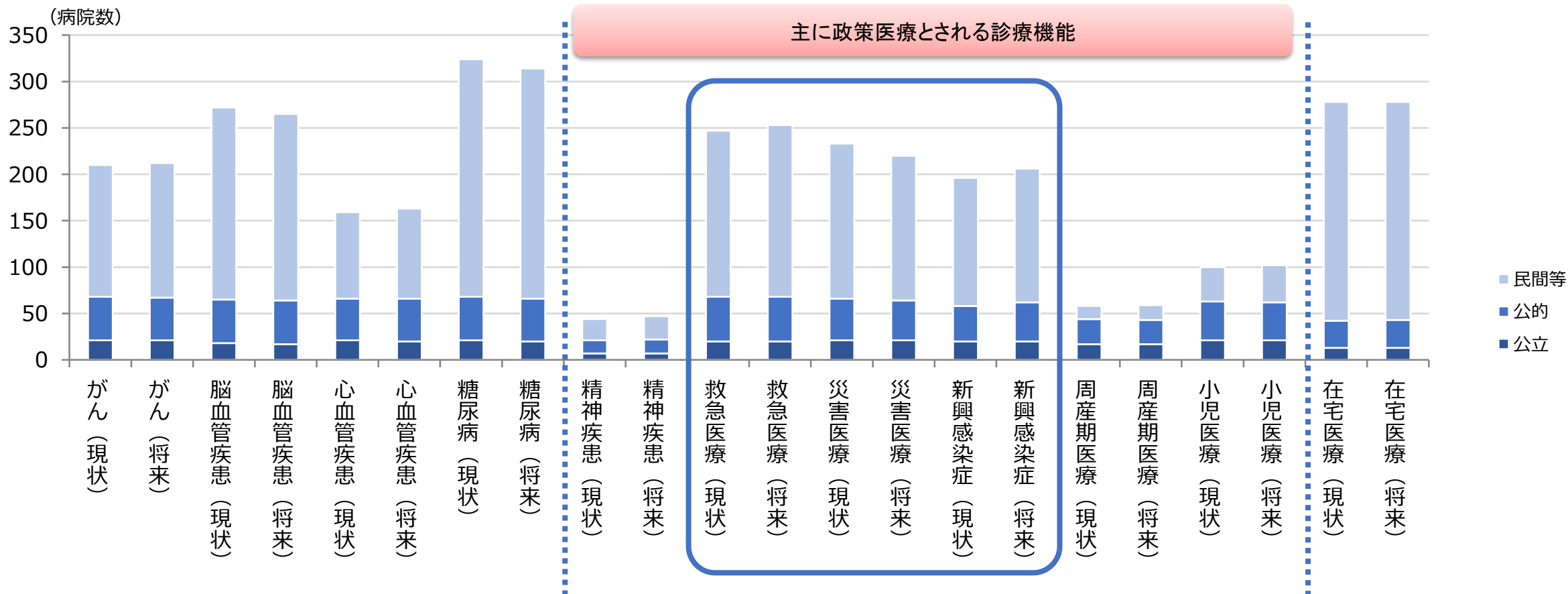
② 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

主に政策医療とされる診療機能の中で、「救急医療」「災害医療」「新興感染症」については、多くの民間等医療機関においても機能を担っている

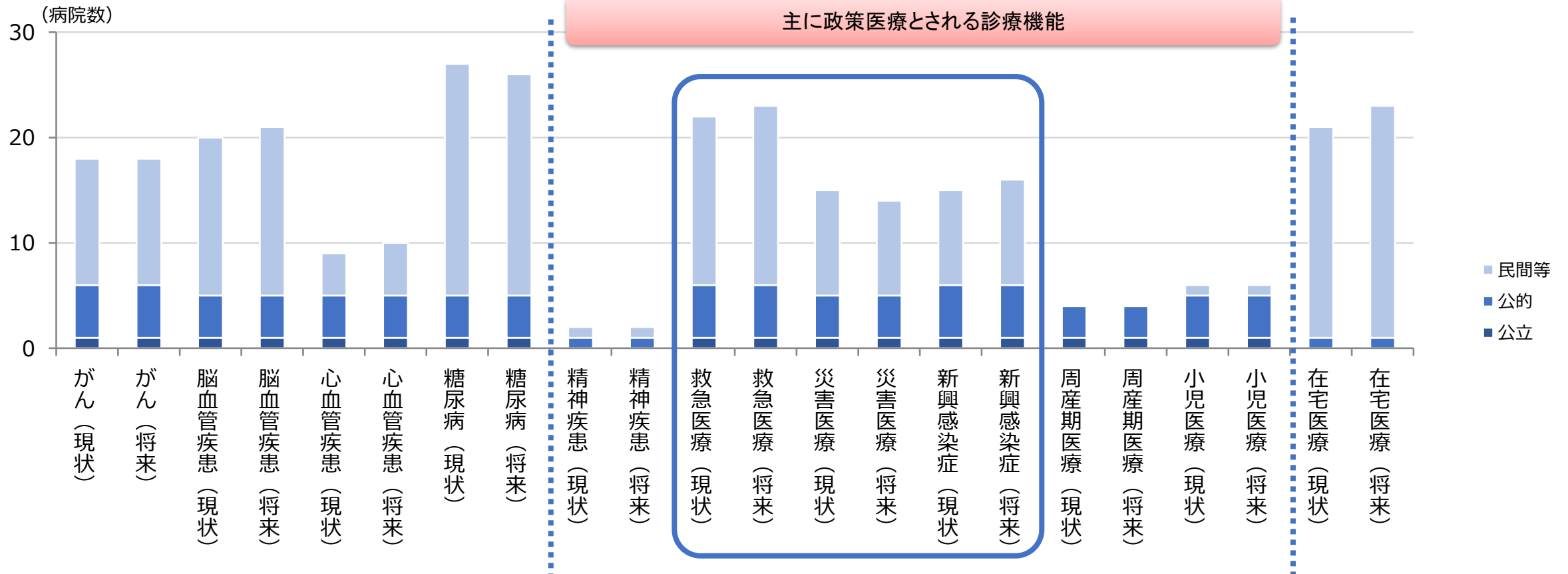
1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較



② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

圏域でも、「救急医療」「災害医療」「新興感染症」については、
多くの民間等医療機関においても機能を担っている

1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較

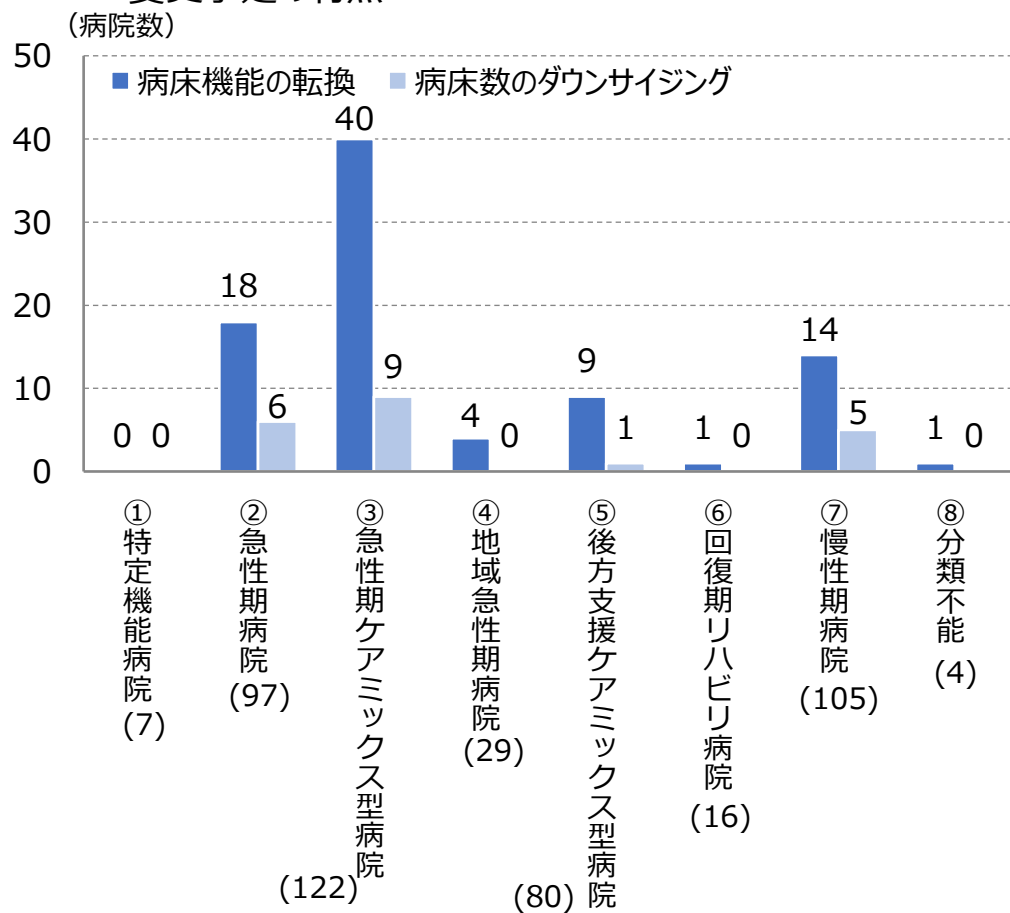


② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

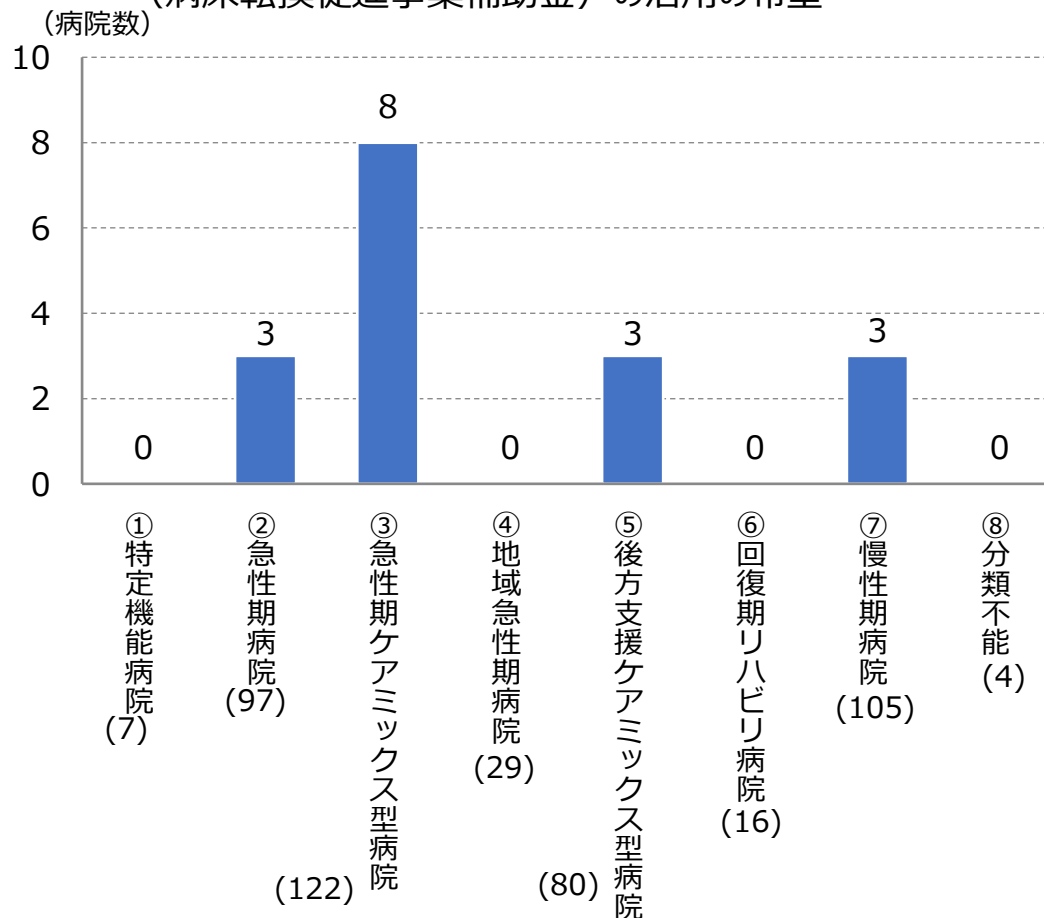
2025年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型が最も高く約33%となっている

2 今後の病院の方針①

● 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無



● 地域医療介護総合確保基金 (病床転換促進事業補助金) の活用の希望

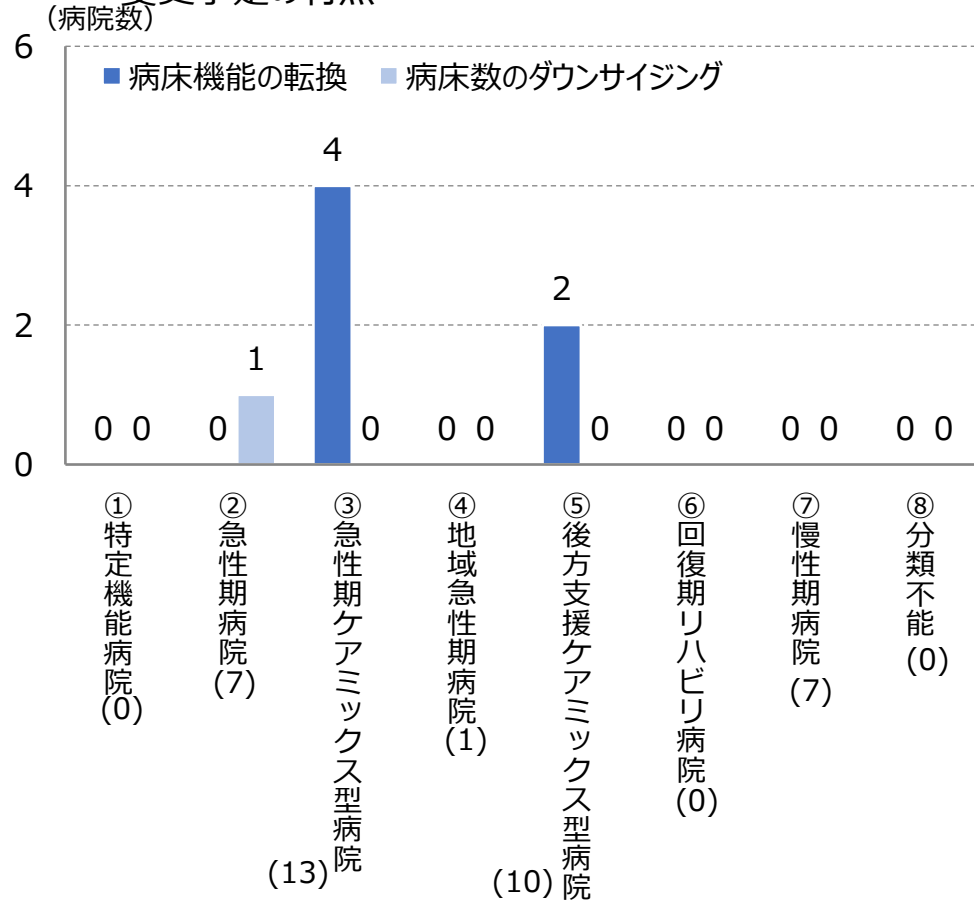


② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

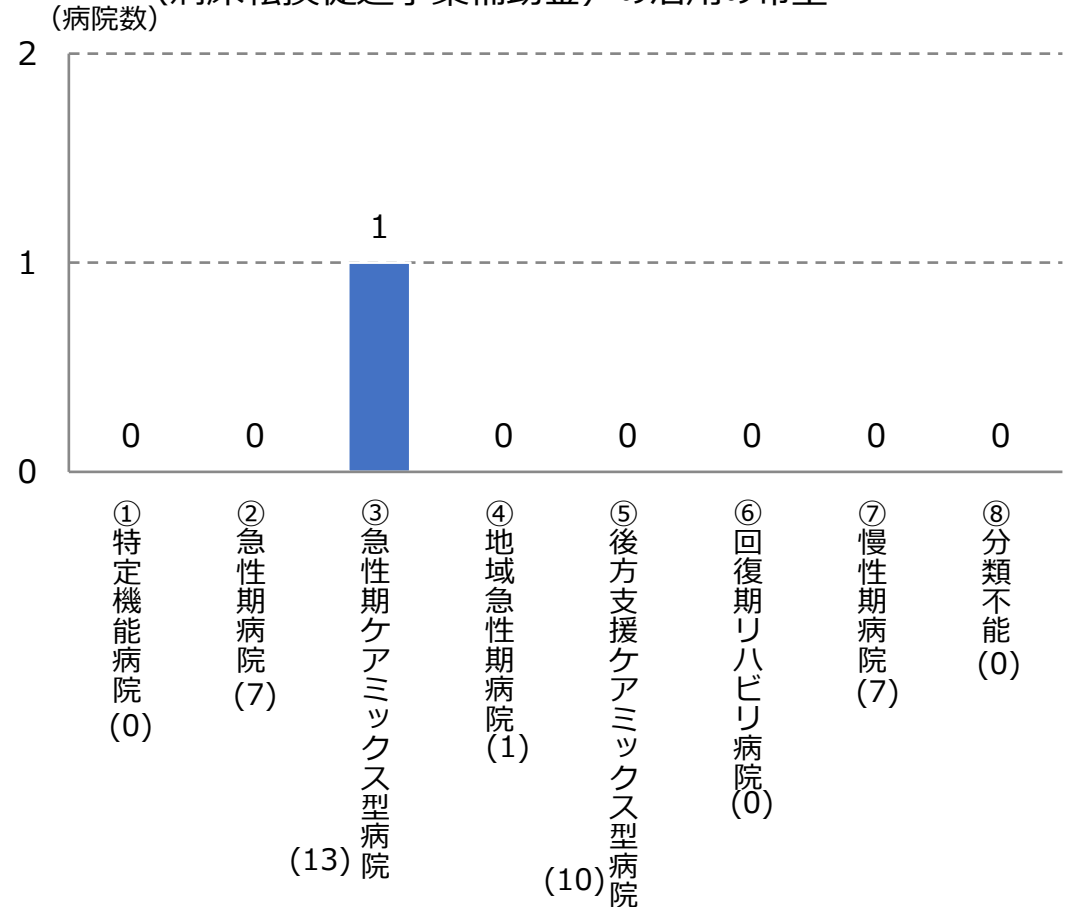
2025年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型が最も高く約31%となっている

2 今後の病院の方針①

● 2025年に向けた病床機能・病床数等の変更予定の有無



● 地域医療介護総合確保基金 (病床転換促進事業補助金) の活用の希望

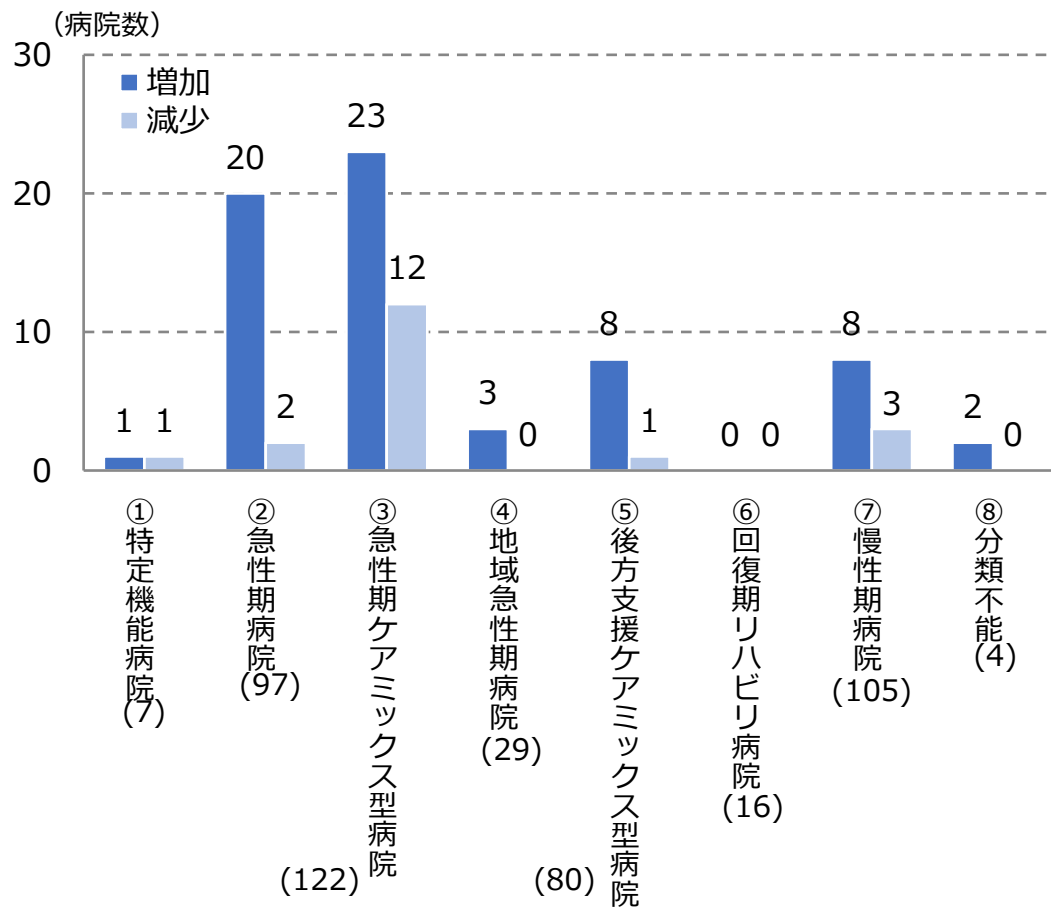


② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

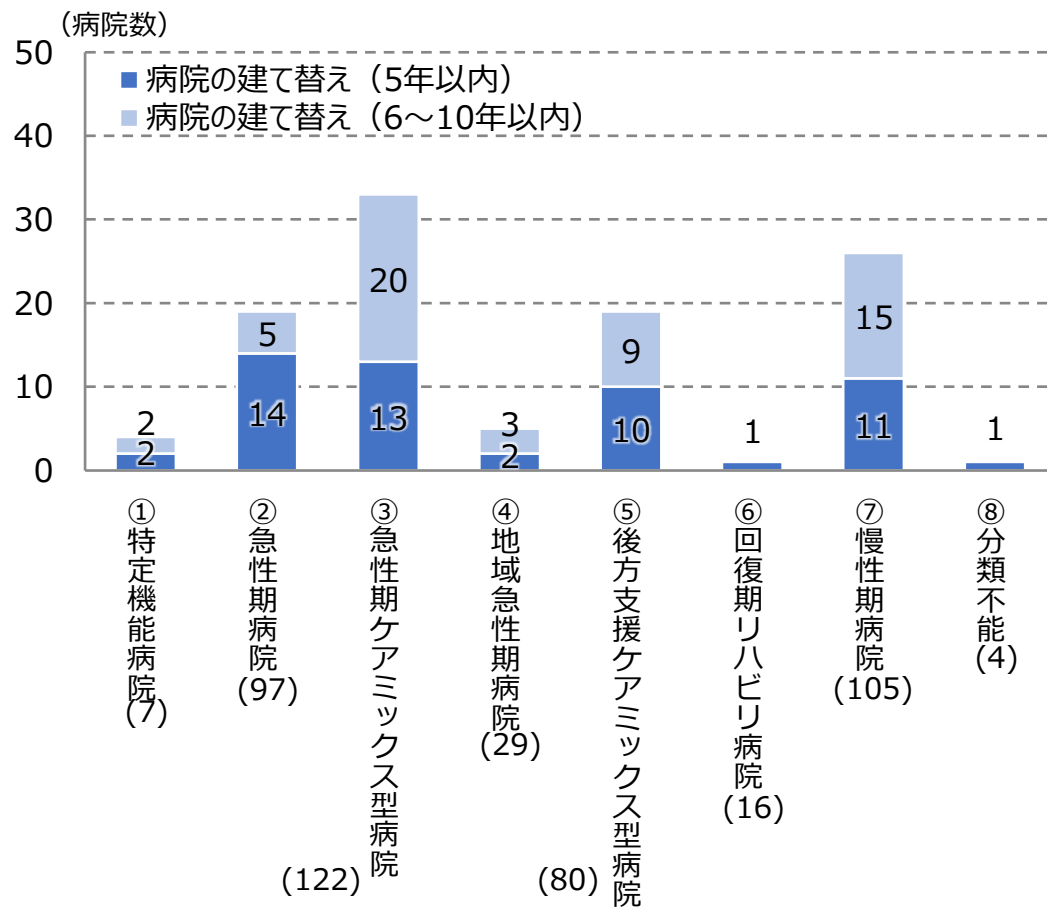
今後、10年以内に建物・設備の整備・改修を予定している医療機関は約23%である

2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無

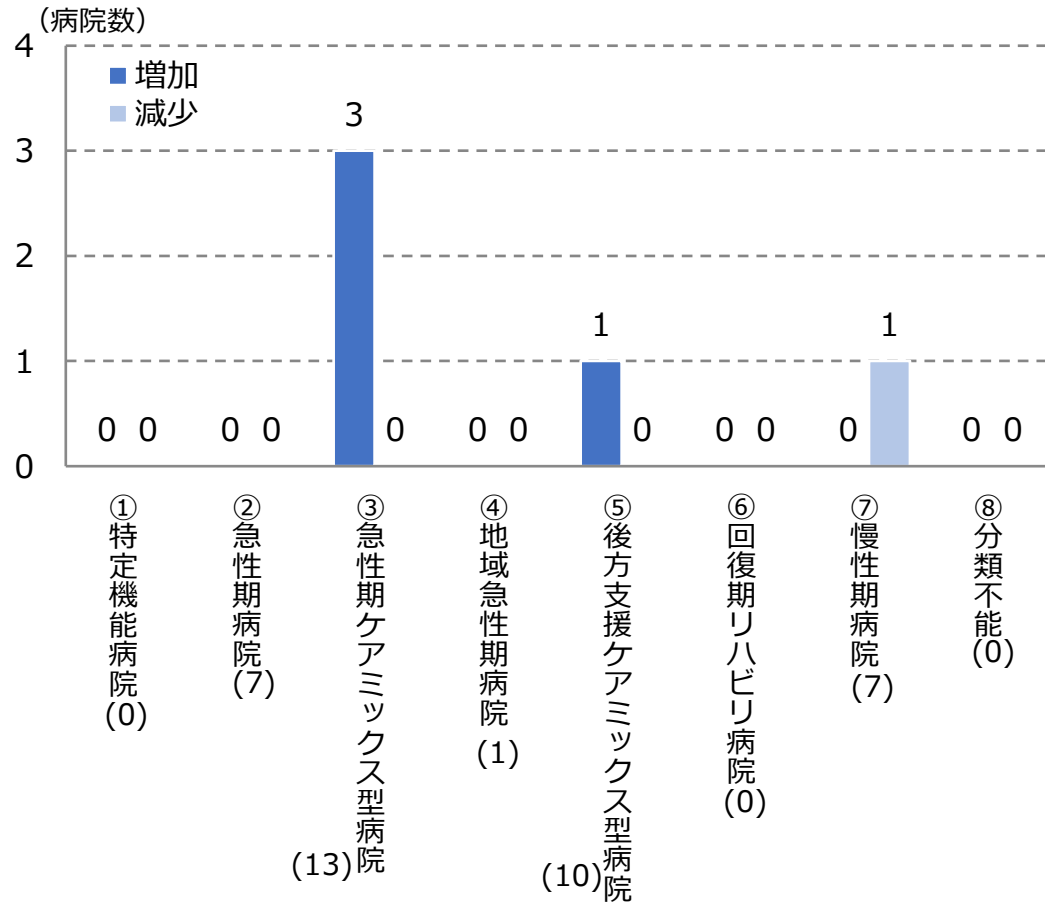


② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

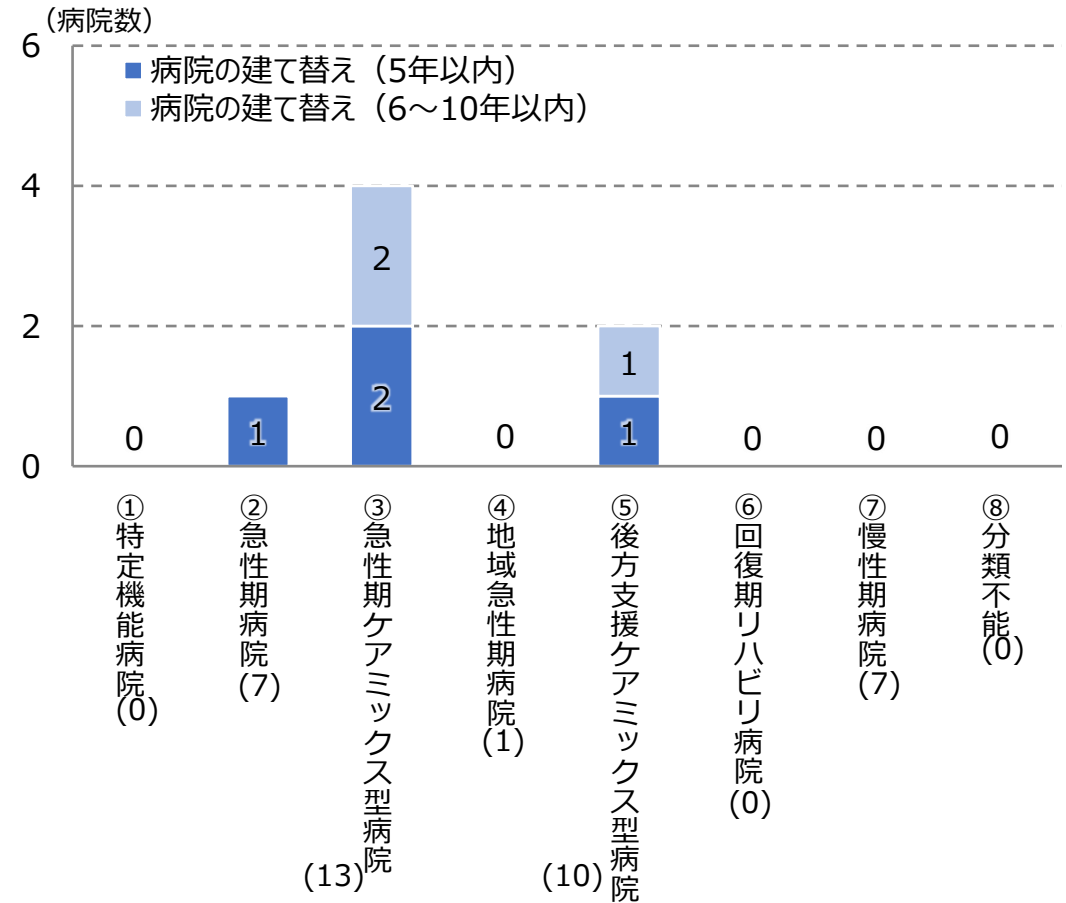
今後、10年以内に建物・設備の整備・改修を予定している医療機関は約18%である

2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



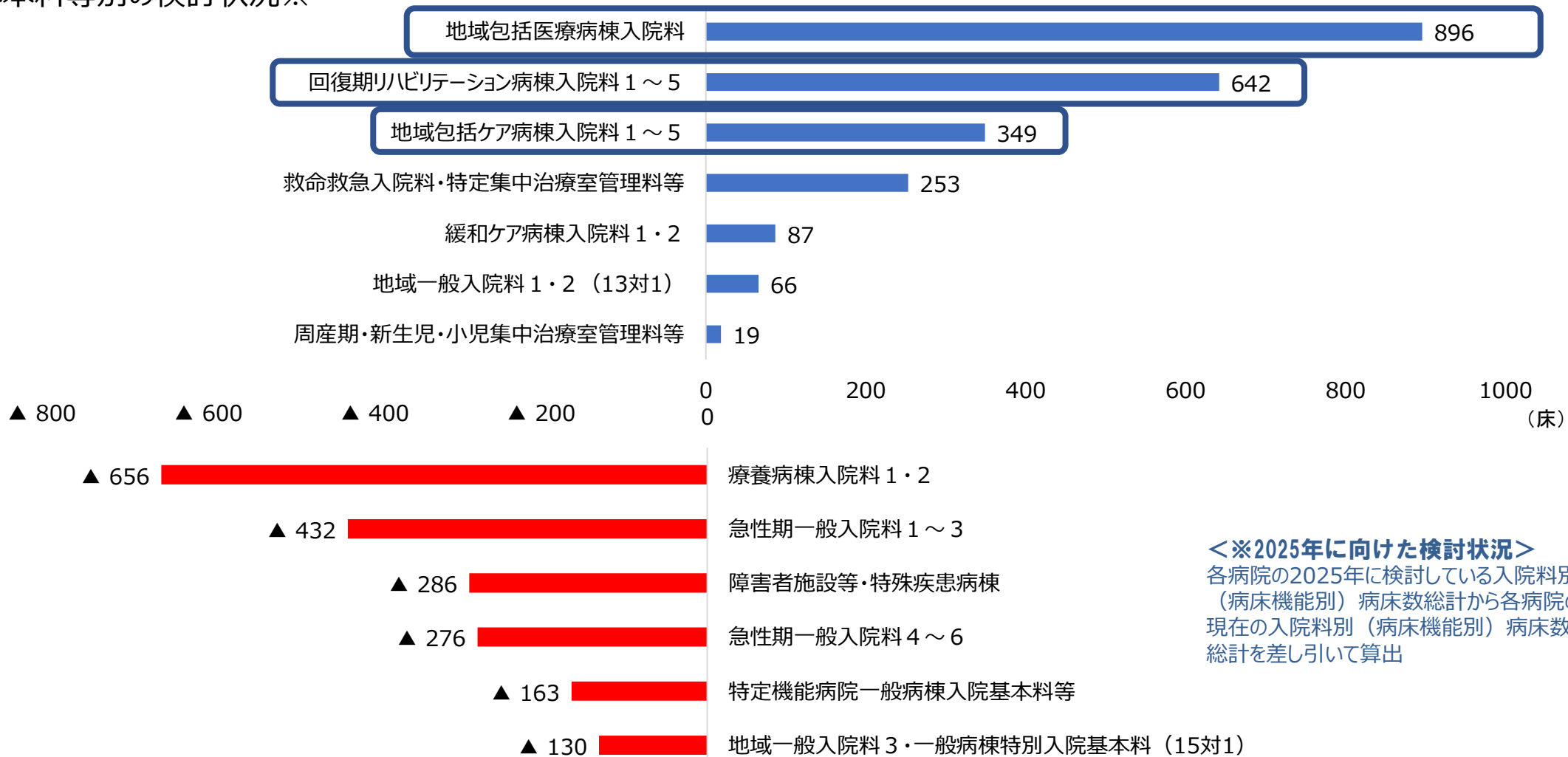
● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無



② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

各病院が検討している病床機能等の変更は、
構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致している

● 入院基本料等別の検討状況※

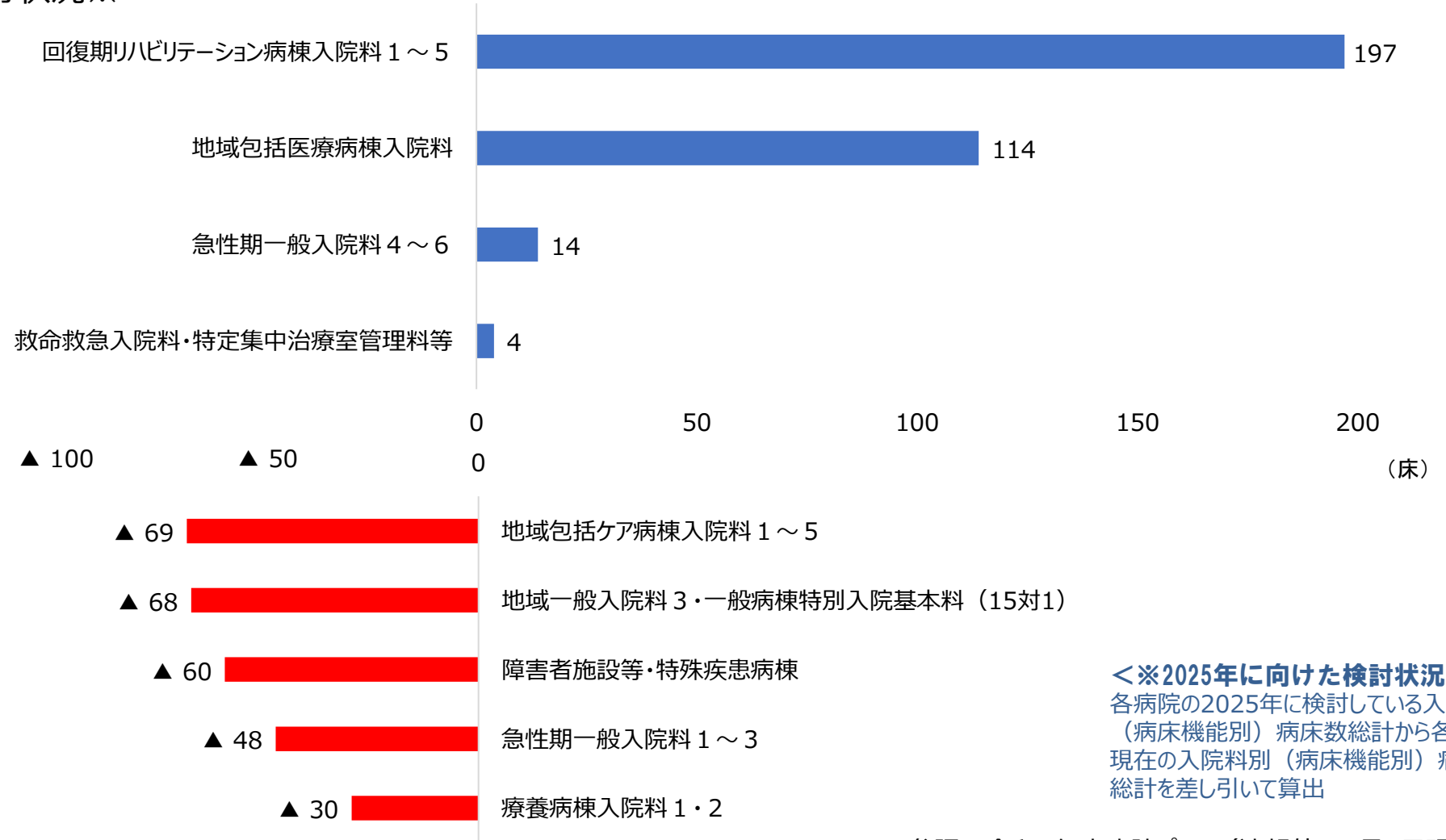


<※2025年に向けた検討状況>
各病院の2025年に検討している入院料別
(病床機能別) 病床数総計から各病院の
現在の入院料別 (病床機能別) 病床数の
総計を差し引いて算出

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

回復期リハビリテーション病棟入院料や地域包括医療病棟入院料等の増加、
地域包括ケア病棟入院料等の減少が検討されている

● 入院基本料等別の検討状況※



＜※2025年に向けた検討状況＞
各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

2025年に向け、各病院が検討している病床機能については、公立病院では高度急性期、公的・民間等病院では急性期への転換が多くなっている（休棟からの再稼働を含む）

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	4,464	4,012	270	106	164	38	12	8,796
公的	10,223	9,849	1,056	427	629	465	182	21,775
民間等	2,070	13,866	15,453	8,371	7,082	21,622	43	53,054
計	16,757	27,727	16,779	8,904	7,875	22,125	237	83,625

2025年に向けた現状（2024年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	+920	▲448	▲18	±0	▲18	▲16	▲238	+200
公的	▲537	+243	▲50	▲96	+46	+54	▲281	▲571
民間等	+220	+548	+497	▲96	+593	▲924	▲1,075	▲734
計	+603	+343	+429	▲192	+621	▲886	▲1,594	▲1,105

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

2025年に向け、各病院が検討している病床機能については、
回復期への転換が多くなっている

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	480	0	0	0	0	0	0	480
公的	1,312	589	186	45	141	0	79	2,166
民間等	64	998	1,643	828	815	3,784	0	6,489
計	1,856	1,587	1,829	873	956	3,784	79	9,135

2025年に向けた現状（2024年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0
公的	+16	▲80	+39	±0	+39	±0	+25	±0
民間等	±0	+55	+114	▲44	+158	▲90	▲90	▲11
計	+16	▲25	+153	▲44	+197	▲90	▲65	▲11